

●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果

東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

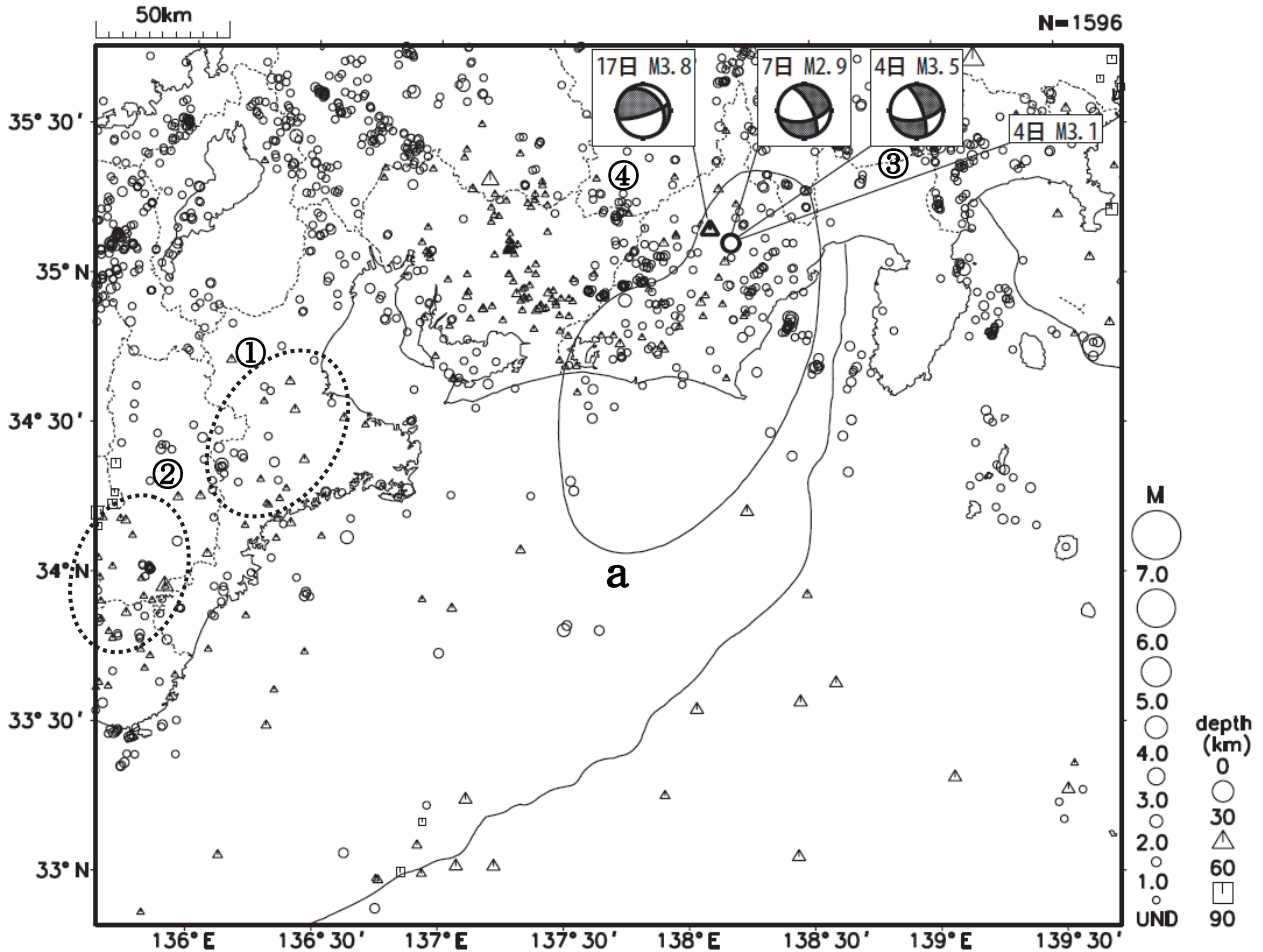


図1 震央分布図（2017年9月1日～30日：深さ0～90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。）

〔概況〕

特に目立った活動はなかった。

- ① 3日から4日にかけて、14日、21日、29日に、三重県を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ② 3日から5日にかけて、奈良県から和歌山県を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ③ 4日07時38分に静岡県中部の深さ13kmでM3.5の地震（最大震度1）が発生した。また、7日00時48分にもほぼ同じ場所でもM2.9の地震（最大震度1）が発生した。これらの地震は、地殻内で発生した。発震機構は、いずれも西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。これらの地震の震源付近では、9月4日以降、ややまとまった地震活動となっている。
- ④ 17日04時12分に、静岡県中部の深さ34kmでM3.8の地震（最大震度2）が発生した。この地震は、発震機構が北西－南東方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する